

◆中国語チューター

今年度初のプログラムとして、前期に留学生3名が12名の地域サポーターに中国語を教えました。勉強会では、簡単な中国語会話を中心に、中国と日本の漢字の意味の違いや、受講者が興味のある中国文化の紹介を取り入れ、受講者から「少人数で、話す機会も多く勉強になった」との感想が寄せられました。チューターの3名にとっても、家族的なあたたかい雰囲気の中での楽しい経験となったようです。



▲地域サポーターとチューターの焦さん

◆アボリジニの絵

国際交流プラザの壁に、アボリジニ絵画の伝統にのっとり狩人と獲物を描いた絵が飾られています。これは、2008年9月にオーストラリアンカトリック大学で実施された英語研修の際に描かれたものです。アボリジニ文化の講義をして下さった芸術家の方が、「あなたが気に入ったから」と全くのご厚意で輪郭を書いて下さったところに、本学学生と引率教員2名がカンガルーと亀の腹部の格子柄を一本ずつ描き込みました。是非ご覧ください。



▲アボリジニの絵

◆英語サロンのお知らせ

英語サロンは、後期も開催されます。申込は不要です。お気軽にご参加下さい。

日時：金曜日12:20～12:50

10月1, 8, 15, 22, 29日/11月5, 12, 19, 26日

場所：3号棟1階児童学科プレイルーム(3105教室)

担当：マーク・ルイス先生

◆各募集のお知らせ

*言語チューター

言語チューターとは、中国語、韓国語、日本語を学びたい学生が、それらの言語を母語とする学生と1対1で勉強する制度です。各言語を習いたい人、教えたい人の両方募集します。「習う人」の応募資格は、日本語の場合のみ、学部1年生または2年次の留学生に限られます。「教える人」の応募条件は、以下の通りです。

中国語：中国語を母語とする学生

韓国語：韓国語を母語とする学生

日本語：日本語を母語とする日本語教員養成コース履修生、
国語科教員免許課程履修生、日本語ゼミ生

*科目チューター

科目チューターとは、学部1年および2年に在籍する留学生のための制度です。履修科目に困難が生じた際に、同じ科目を履修している(または履修したことがある)学生を科目チューターとして、一緒に勉強することができます。

*日本語会話パートナー

日本語会話パートナーとは、日本語を母語とする学生と留学生が、お互いの文化や言語について教え合ったり、興味や趣味について話し合ったり、自由に楽しく交流する制度です。

*アメリカの大学生とメール交換してみませんか?

アメリカ・フロリダ州のFlorida International University(フロリダ国際大学)で日本語を学ぶ学生とメールを交換する制度です。使用言語は、日本語と英語のうちから選ぶことができます。

◆各募集の応募方法

10月4日までに、所定用紙で国際交流センターへお申し込み下さい。ただし、科目チューターはサポートが必要になった場合にいつでも申し込み可能です。

12月・冬の国際交流月のお知らせ 「第4回外国語スピーチ・コンテスト」

12月の「冬の国際交流月」のテーマは、例年通り「外国語でスピーチを！」です。発音やスピーチ原稿作成に「現時点で」自信がなくても、挑戦してみませんか?教員や留学生が指導に当たりますので、どうぞふるってご参加ください。外国語スピーチ・コンテストに参加する事で、新しい世界へと通じる扉を開ける事になるかもしれません。コンテスト終了後には、入賞者に記念品を贈呈します。その後はクリスマス・パーティーが開催されますので、どうぞお楽しみに!また、当日のスピーチ・コンテストは、どなたでもお聴きになれます。多数の皆さんのご参加をお待ちしております。

開催日時：2010年12月22日(水)午後4時20分より

応募期間：2010年10月1日(金)～11月12日(金)

参加申込：所定用紙で国際交流センター室へ

日本語および海外留学体験弁論部門出場者は、400字詰め原稿用紙3枚から3枚半程度の口述原稿(日本語)を添えて申し込んで下さい。

指 導：英語は教員、中国語、韓国語は留学生

※早めに応募すれば準備に時間がとれ、自信を持ってコンテストに臨む事ができます。

<第一部>外国語暗唱部門

言 語：英語・中国語・韓国語

参加資格：それぞれの言語を母語としない本学学生

内 容：指定された文章から選択したものを暗唱する。

<第二部>日本語弁論部門(各自5分)

参加資格：日本語を母語としない本学学生

内 容：以下の内容から一つ選択し、スピーチする。

1. 日本で暮らして考えたこと
2. 日本で出会った大切な人
3. 私の夢

<第三部>海外留学体験弁論部門(各自5分)

参加資格：海外留学・研修等の経験のある本学学生

内 容：以下のテーマから一つ選択し、日本語でスピーチする。

1. 海外留学・研修体験から得たもの
2. 海外に滞在して考えたこと
3. 外国で出会った大切な人

第二部と第三部はスピーチ終了後、質疑応答があります。なお、審査員と言語指導を担当する中国語および韓国語を母語とする学生スタッフも募集しています。興味のある方は10月30日までに国際交流センター室にお申し込み下さい。ただし、審査員や言語指導を担当した場合は、スピーチ・コンテストには出場できません。